アクセス

鹿児島市電をご利用の方

市電2系統「唐湊(とそ)電停」または
「工学部前電停」下車(徒歩 約5分)

JRをご利用の方

指宿枕崎線「郡元」下車(徒歩 約12分)

市営バスをご利用の方
(鹿児島中央駅経由)

11番線(鴨池・冷水線)
20番線(緑ヶ丘・鴨池港線)
「法文学部前」下車(徒歩 約3分)

鹿児島交通バスをご利用の方
(鹿児島中央駅経由)

18番線(大学病院線)
19番線(紫原・桜ヶ丘団地線)
「法文学部前」下車(徒歩 約3分)

南国交通バスをご利用の方
(鹿児島中央駅経由)

N30番線「鹿大教育学部前」下車(徒歩 約3分)
N39番線「法文学部前」下車(徒歩 約3分)

最新情報は法文学部のサイトをご覧下さい。
https://kadai-houbun.jp

法文学部に関するお問い合せ

鹿児島大学 法文学部 学生係
〒890-0065 鹿児島市郡元1丁目21番30号
TEL 099-285-7525
FAX 099-285-3597

2023年6月発行

令和6年度 受験者のために

鹿児島大学法文学部 概要

FACULTY OF LAW,ECONOMICS AND HUMANITIES

鹿児島大学法文学部は南九州唯一の人文社会科学系総合学部です。

鹿児島大学法文学部
FACULTY OF LAW,ECONOMICS AND HUMANITIES

目次

法文学部長より
法文学部のあゆみ ―― 2

法文学部で
3つの学びを実現する ―― 3

法文学部の理念と教育 ―― 5

学科・コース紹介

法経社会学科 ―― 7

法学コース ―― 9

地域社会コース ―― 11

経済コース ―― 13

人文学科 ―― 15

多元地域文化コース ―― 17

心理学コース ―― 19

入学定員と募集人員（令和6年度） ―― 21
留学

学生生活支援 ―― 22
就職状況
法文学部附属センター
大学院

広く学ぶ。
深く学ぶ。
学びを活かす。

法文学部長より

法文学部の教育理念は、専門分野に関する高度な専門性だけでなく、人文社会科学に関する幅広い知識と能力を兼ね備えた人材を育成することにあります。

法文学部の前身は旧制第七高等学校を母体とする文理学部です。すなわち、法文学部は新制国立大学の鹿児島大学において、文系と理系の複合的な学部として発足しました。その後、学部の専門性を高める動きの中で文系分野と理系分野がそれぞれ別個の学部として独立しましたが、度重なる大学改革を経ながらも、法文学部は1965年の設置以来、法学、経済学、文学などそれぞれの専門分野をコアとして学習しつつ、他の学問分野の基礎的知識と能力を身につけることができる文系総合学部の特質を維持しています。

現代社会はグローバル化とその構造の複雑化が進行し、想像を超えたスピードで新しい価値や社会の仕組みが生み出されています。そのため社会で生じる様々な課題を一つの分野の専門知識だけで解決することは困難です。多様な価値が生み出される現代においては、様々な学問に触れることにより正義の感覚を養うことも重要です。実際に社会のあらゆる領域において高い専門性だけでなく、現代にふさわしい正義の感覚と幅広い知識・能力を兼ね備えた人材が求められています。

法文学部は2017年の改組により文系総合学部としての特質が強化されました。法学、地域社会、経済、多元地域文化、心理学のいずれかのコースに所属し自己の専門領域を深く学ぶ一方で、幅広く体系的に他の学問を学ぶ体制が組まれています。2022年4月には司法政策教育研究センターが法文学部附属組織となり、同年10月には新たに法文学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センターが発足しました。

また地域的課題の解決に必要な知識と能力の育成に加え、海外研修など多くの国際性豊かな科目も配置して、グローバルな視点から現代社会の諸課題を考え、解決する能力の育成にも積極的に取り組んでいます。このように鹿児島大学法文学部は、不断に変化する社会の多様なニーズに応えるための人材を育成するのに最もふさわしい学部の一つであると考えています。皆さんの入学を心待ちにしています。

法文学部長　松田 忠大

法文学部のあゆみ

1901年3月	第七高等学校造士館設置
1946年3月	第七高等学校と改称
1949年5月	鹿児島大学設置。第七高等学校を母体として文理学部（一般教養部を含む）が開設され、文学科・社会学科・理学科を設置
1965年4月	鹿児島大学法文学部を開設し、法学科・経済学科・文学科設置
1979年4月	大学院法学研究科設置／文学科が人文学科に発展
1986年4月	大学院人文科学研究科設置
1997年4月	法政策学科・経済情報学科・人文学科に発展
1998年4月	大学院人文社会科学研究科設置
2002年4月	大学院人文社会科学研究科地域政策科学専攻（博士後期課程設置）
2004年4月	法科大学院（司法政策研究科）設置（2017年3月廃止。同年4月「司法政策教育研究センター」に改組）
2007年4月	大学院臨床心理学研究科設置
2017年4月	法経社会学科（法学コース・地域社会コース・経済コース） 人文学科（多元地域文化コース・心理学コース）に改組
2022年4月	司法政策教育研究センター法文学部附属組織化
2022年10月	「鹿児島の近現代」教育研究センター設置

法文学部で3つの学びを実現する

広く学ぶ
総合性

深く学ぶ
専門性

学びを活かす
活用性

「広く学ぶ」「深く学ぶ」「学びを活かす」の3つの「学び」を基本とし、各コースの特色ある教育と分野横断的な教育をクロスさせたカリキュラムを準備します。

法文学部の教育理念

南九州唯一の人文社会科学系総合学部として、法文学部では、総合的な観点から人間と社会を深く理解し、情報化・国際化および地域社会の変化にともなう諸問題に適切に対処できる現実的な課題解決能力を持つ人材の育成を目指します。

特色ある教育

- すべての学生に開講される法文スタンダード科目
- 基礎・活用・実践の３つのフェーズに分かれた専門教育の展開
- 学際的な知識と現場感覚を身につける法文アドバンスト科目
- 学びをさらに飛躍させたい学生のための法文チャレンジ・プログラム

法文チャレンジ　プログラム　プラスαの学び

異文化体験チャレンジ・プログラム / 心理学チャレンジ・プログラム　　司法チャレンジ・プログラム / 地域再生チャレンジ・プログラム

法経社会学科
LAW,ECONOMICS AND SOCIOLOGY

社会科学を学ぶ

法学コース
法学・政治学の知見と広範な視野を持ったゼネラリストとして社会で活躍できる。

地域社会コース
地域社会の理解を深め、地域社会の課題を住民参画による協働形成によって解決できる。

経済コース
経済・経営・情報分野の基礎知識と専門性を持ち、地域の企業や自治体において中核的な立場で活躍できる。

人文学科
HUMANITIES

人文科学を学ぶ

多元地域文化コース
地域および世界の多元的な文化・歴史・環境への深い造詣に基づき、広い視野に立って、地域社会と国際社会の課題を実践的に解決できる。

心理学コース
人間の心と行動への深い理解に基づき、地域の様々な心理的問題の解決に貢献したり、心理学の知見を活かして産業・ビジネス分野で活躍できる。

法文アドバンスト科目

- 観光学
- まちづくり論
- アクティブゼミ
- 地域科学演習
- 現代社会を探る
- 自然科学から見る人・文化・社会
- インターンシップ
- 海外異文化体験実習 など

法文スタンダード科目　（人文社会総合論）

法文学部の理念と教育

法文学部では このような人材を求めています！

1. 人文社会科学を学ぶうえで必要となる幅広い基礎学力を備えている人
2. 地域社会と世界の人間・文化・社会に関心を持つ人
3. 現実に即した問題解決能力・言語能力・情報処理能力の習得に意欲のある人
4. 大学で自分の将来および可能性を探求する意欲のある人

法文学部では このような教育をおこないます！

総合性 広く学ぶ

法文スタンダード科目「人文社会総合論」：人文社会科学系総合学部としての特性をふまえ、法文学部のすべての学生が共通して身につけるべきものとして、人文科学や社会科学の基礎的な知識や多様な問題について考えるための幅広い視点を学びます。

専門性 深く学ぶ

段階的な専門教育：すべての学科・コースにおいて、「基礎」・「活用」・「実践」という3つのフェーズに分かれた専門科目を体系的・段階的に受講することで、より高度な知見や技能を身につけます。

基礎	学科やコースの学生が共通して理解すべきものとして、専門領域の基本的な考え方やその発展過程について学びます。
活用	多彩な授業科目を通じて専門的な知識や技能を磨き、現代社会や文化の諸問題について考える力を養います。
実践	現場での実習やゼミでの活動を通じて、他者とのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力、状況に応じた柔軟な発想力や主体的な行動力を身につけます。

活用性 学びを活かす

法文アドバンスト科目：学科やコースでの学びをさらに飛躍させ、学問分野を越えた学際的な知識を身につけるとともに、現場感覚を有した柔軟な発想力や実践力を磨きます。

法文アドバンスト科目Ⅰ

豊かな自然や歴史遺産を有する鹿児島を中心とした地域の可能性や課題を探り、地域社会に貢献するために、自治体や企業とも連携しながら、以下のような科目を開講します。

「観光学」「アクティブゼミ」「まちづくり論」
「自治体政策総合論」「海外異文化体験実習」
「地域科学演習」「現代社会を探る」など

法文アドバンスト科目Ⅱ

文系・理系の枠にとらわれず、分野横断的な幅広い知見を身につけるために、理系学部の協力を得て、以下のような科目を開講します。

「自然科学から見る人・文化・社会」
「水産学概論」
「水圏環境保全科学」「畜産科学概論」
「応用植物科学概論」など

法文チャレンジ・プログラム ▶ 広く学ぶ、学びを活かす

専門教育で培った知見や技能をさらに発展させるとともに、他学科や他コースの専門分野を含めた、さらなる学びを追究したい学生のために、右の4つのプログラムを用意しています。このプログラムを履修した学生には、修了証明を発行します。

- 司法チャレンジ・プログラム
- 地域再生チャレンジ・プログラム
- 異文化体験チャレンジ・プログラム
- 心理学チャレンジ・プログラム

深く学ぶ。学びを活かす。

法経社会学科

LAW, ECONOMICS AND SOCIOLOGY

法経社会学科では、人と社会に関する論理的・科学的な思考力・判断力・表現力を育み、幅広い視野の下で身につけた社会科学の素養を課題発見とその解決に活用できる人材の育成を目指しています。

法経社会学科の教育方針

- 法経社会学科は、地域社会、国際社会の抱える課題解決に深い関心を持つ学生の入学を待っています。
- 法経社会学科では、社会科学の様々な分野に関する知識・スキルを、基礎・活用・実践と段階的に学べる特色あるカリキュラムを用意しています。
- 法経社会学科では、地域社会、国際社会に貢献できる人材を育成します。

法経社会学科は、法学コース、地域社会コース、経済コースよりなり、それぞれ専門性を踏まえた学びを実現します。

法経社会学科スタッフ紹介

法学コース

伊藤 周平	（社会保障法）
上原 大祐	（刑法）
植本 幸子	（民法）
河野 航平	（民法）
齋藤 善人	（民事手続法）
中島 宏	（刑事手続法）
松田 忠大	（商法）
三上 佳佑	（憲法）
森尾 成之	（行政法）
米田 憲市	（法社会学）
原田 いづみ	（法律実務）
平井 一臣	（政治史、地域政治論、日韓関係論）

地域社会コース

井原 慶一郎	（芸術文化デザイン論）
小栗 有子	（社会教育学、環境教育論）
片桐 資津子	（福祉社会学）
金子 満	（子ども論、社会教育学）
城戸 秀之	（現代社会論）
桑原 司	（コミュニケーション論）
酒井 佑輔	（多文化共生教育論、社会教育学）
崎野 剛	（自治体政策論）
中島 大輔	（ドイツ都市文化史）
農中 至	（社会教育学、人権・格差論）

経済コース

石塚 孔信	（ミクロ経済学）
市川 英孝	（技術経営）
王 鏡凱	（経営財務論）
北崎 浩嗣	（地域計画論）
北村 浩一	（管理会計論）
呉 博宇	（金融論）
澤田 成章	（財務会計論）
高倉 啓	（マクロ経済学）
西村 知	（アジア経済論）
馬場 武	（情報マネジメント）
林田 吉恵	（財政政策論）
松川 太一郎	（経済統計論）
三浦 壮	（日本経済史）
山本 一哉	（国際金融論）

（令和5年度6月現在、50音順）

法経社会学科 法学コース

専門的知識を用いて、地域社会や国際社会の諸問題を発見し解決策を発信できる人材を育成

法学コースでは、法学・政治学に関する知識、論理的・科学的思考力と実践的な判断力、自らの考えを他者に伝える表現力を身につけます。これによって、地域社会や国際社会が置かれた諸状況の中から解決すべき課題を発見し、多様な考えや視点を踏まえつつ適切に解決するためのファシリテーション能力を有する人材を育成します。

授与する学位

- 学士（法学）

取得できる資格

- 中学校教諭一種（社会）
- 高等学校教諭一種（公民・商業）

VOICE 在学生の声

渡邊 俊介さん 法学コース3年

まず法学コースでは主に法律の内容や扱い方などを学んでいきますが、身の回りでも起こりうるような課題に対し、身につけた知識や考え方を使って自分なりに対応していくというのは、法律学ならではの楽しさだと思います。学年が上がるにつれ、演習等でそのような経験をたくさんすることができるため、楽しみながら物事を考える力や考えを伝える力を成長させることができます。さらに法律学だけでなく、社会学や経済学といった幅広い学問分野について学ぶこともでき、こうした様々な学習の中で生じた自分の興味、関心に応じて学びを探求していけることが、このコースならではの魅力だと思います。

教育の特徴

3つの履修モデル

卒業後の進路をイメージした「公共政策法」「国際企業取引法」「司法」の3つの履修モデルに沿って学修を進めることによって、それぞれの進路で役立つリーガルマインドや高度な法的スキルを身につけることができます。

実践的な法学教育

新しい時代に合った法学教育の手法を積極的に採り入れ、演習（ゼミナール）の他、実践演習（模擬裁判、法情報論、海外研修、法律事務所等でのインターンシップ等）などの科目を多数開講しています。これらの履修を通じて、高度な実践力を身につけることができます。

多様な進路

鹿児島大学における法学教育は、国家・地方公務員（県庁・市役所・裁判所・各中央省庁ほか）、九州や国内各地の有力企業、法律専門職（弁護士・司法書士・税理士ほか）など、社会の様々な分野に多くの人材を送り出してきました。法学コースはその伝統を承継しています。

カリキュラム

1年次
社会科学の基礎を学ぶ
社会科学の諸分野の全体像について把握します。

2年次
専門知識の基礎を学ぶ
法学・政治学の本格的な学びを開始し、理解を深めます。

3年次
修得した知識を実践的に身につける
専門知識の学習を深めるとともに、演習等の実践科目を通してこれらの知識を実践的に身につけていきます。

4年次
コースの学びを活用する
学んだ実践的な知識の修得の確認を行い、将来の進路に向けた準備をします。

主な就職先

- 公務員
- 民間企業
- 法律系各種資格取得
- 法科大学院進学（法曹コースを含む）

など

VOICE 卒業生の声

清水 千亜里さん 宮崎地方検察庁検事 2016年卒業

検察官の仕事は、被疑者や被害者等の事件関係者だけでなく、裁判官や弁護人、警察官等様々な立場の人に接する仕事であり、相手の立場や考えを理解した上で、自分自身の意見を伝えなくてはなりません。そのような仕事をする中で、鹿児島大学で学んだ様々な知識や身につけた力は、現在の執務にあたる上で、とても活かされていると感じます。大学では、ただ講義を受講するだけではなく、ゼミや講義の中で、様々な法律問題について、学生同士で意見交換をすることなどにより、他者の意見を取り入れた上で自分自身の考えを深めることができ、さらに、それを他者に向けて発信するという力を身につけることができたと思います。

法経社会学科 地域社会コース

地域社会の理解を深め
地域社会の課題を解決できる人材を育成

地域社会コースでは、コミュニティの観点から社会学・自治体政策・社会教育学を中心に地域社会の現状と課題を学び、地域社会が抱える様々な課題を住民参画による協働形成によって解決できる人材を育てます。
地域づくりの基礎であるコミュニケーション能力、地域社会の住民の視点からその課題や可能性を発見する能力、住民相互や行政など地域の組織団体との協働に必要なコーディネーターとしての能力を身につけることができます。

授与する学位

- 学士（学術）

取得できる資格

- 中学校教諭一種（社会）
- 高等学校教諭一種（公民・商業）
- 社会教育主事（社会教育士）
- 社会福祉主事

VOICE 在学生の声

小林 陽太郎さん 地域社会コース3年

地域社会コースでは地域という対象に対して多面的な視点からアプローチをしながら学びを深めることができます。学ぶことのできる分野は幅広く、社会学や社会教育学をはじめとして自治体政策論から芸術文化デザイン論まで多様な学びの機会が設けられています。また、アクティブラーニングやフィールドワークなどコース全体を通して活動的・実践的な学びの機会も多く用意されています。私が所属するゼミでは実際にイベントを企画しながら、アートマネジメントについて学んでいます。このように理論と実践を横断しつつ、幅広く学びを深められることが地域社会コースの魅力だと思います。

教育の特徴

2つの履修モデル

地域社会コースでは学生の将来の進路を踏まえて、「地域社会の課題発見を学ぶ履修モデル」と、「地域社会の協働形成を学ぶ履修モデル」を用意しています。前者には社会学、文化研究、自治体政策に関する科目、後者には社会教育・生涯学習に関する科目があり、相互に関連・補完し合っています。

少人数教育

地域社会コースでは演習、特殊研究、地域社会実習などにおいて少人数教育をおこないます。資料収集、レジュメ作成、報告、討論などを通じて、論理的思考力、表現力、実践力を育成します。コース定員50名に対してきめ細かい指導をおこないます。

特色ある資格

地域社会コースでは教員免許状に加えて、社会教育主事、社会福祉主事の任用資格を取得することができます。社会教育主事は地域の課題発見や未来を考える住民の手助けをおこない、暮らしの再生につながる学習を組織する教育専門職です。

カリキュラム

1年次
社会科学の基礎を学ぶ
社会科学の諸分野の全体像と地域との関わりについて把握します。

2年次
コースの基礎を学ぶ
コースの基幹科目を履修して学修する専門領域の基礎を築きます。

3年次
コースの学びを深める
専門領域の学修を通して論理的思考力、表現力、実践力を向上させます。

4年次
コースの学びを活用する
これまで学んだことを活用して特殊研究に取り組み、課題解決能力を身につけます。

2年次から地域社会コースに分かれ、ゼミ（演習）を選択します。

主な就職先

- 公務員
- 民間企業
- 団体職員
- 教員 など

VOICE 卒業生の声

久保 詩帆さん 鹿児島県立青少年研修センター 2022年卒業

鹿児島県職員として青少年研修センターに勤務しており、職員の給与や福利厚生、予算の執行などの仕事を担っています。大学では社会教育系のゼミナールに所属しており、2年次の調査合宿では「次世代につなぐコミュニティづくりとその担い手」をテーマに、奄美の自然保護や文化活動に取り組む団体や施設を訪問し、ヒアリング調査を実施しました。現場に赴き、生の声を聞きながら学ぶことができた経験は強く印象に残っています。また、郷土料理を食べたり、綺麗な海を見たりしたことも思い出として残っています。大学時代に培った、人との関わりや結びつきの中で学ぶという姿勢は働く上で役立っており、今後も大切にしていきたいと思っています。

法経社会学科 経済コース

地域の企業や自治体において中核的な立場で活躍できる人材を育成

経済コースでは、地域レベルと国際レベルで経済・経営・情報の諸情勢が激動する中、そのダイナミズムを解明し実践的対応策を提示する知的パフォーマンスの発揮能力を育てます。そのために、基礎的な経済理論の修得、現実的な経済・経営情報に基づく科学的知見の生産方法、そして進化する情報システムの理解と活用を重視した教育課程が用意されています。そこでの学究は、教員そして学友との交流を通じて充実されます。

授与する学位

- 学士（経済学）

取得できる資格

- 中学校教諭一種（社会）
- 高等学校教諭一種（公民・商業）

VOICE 在学生の声

松本 絵理香さん 経済コース4年

経済コースでは幅広い分野を学びながら自分の興味を探究できます。必ずしも入学時に興味のあることが明確でなくても、経済コースのカリキュラムの中で見つけて深めることができます。また、迷った際には、アドバイスをくださる教授や先輩方が必ずいます。私はコロナ禍でも大学からの支援をいただきハワイ大学へ留学することができました。そのおかげで、これまでとは違う環境下でも、穏やかな気持ちで多くの学びを得ることができました。皆さんも是非、多様な選択肢から学べるこの経済コースに色々なことを吸収しにきてください。

教育の特徴

2つの履修モデル

経済コースでは、学生の将来の進路を踏まえて、「地域再生のための政策立案能力を育成する履修モデル」と、「地域再生のためのマネジメント能力を育成する履修モデル」を用意しています。

少人数教育

経済コースでは、演習、特殊研究において少人数教育をおこないます。資料収集、レジュメ作成、報告、討論などを通じて、論理的思考力、表現力、実践力を育成します。

情報処理教育

1年次から4年次まで段階的に情報処理教育をおこない、実社会で必要とされる情報処理教育を習得できるようにカリキュラムが構成されています。

カリキュラム

1年次
社会科学の基礎を学ぶ
社会科学の諸分野の全体像と地域との関わりについて把握します。

2年次
コースの基礎を学ぶ
コースの基幹科目によって、学修する専門領域の基礎を築きます。

3年次
コースの学びを深める
専門領域の学修を通して、論理的思考力、表現力、実践力を向上させます。

4年次
コースの学びを活用する
これまで学んだことを活用して特殊研究に取り組み、課題解決能力を身につけます。

2年次から経済コースに分かれ、ゼミ（演習）を選択します。

主な就職先

- 民間企業
- 公務員
- 教員
- 団体職員

など

VOICE 卒業生の声

増山 万見子さん ジオ・サーチ株式会社 2021年卒業

私は現在、ジオ・サーチ（株）という建設コンサルタント会社で、レーダーを用いて道路下の空洞調査をおこなう業務に携わっています。空洞があることで起きる陥没を未然に防ぐことで人々の命や暮らしを守れることがやりがいです。まだ3年目ですが、日本全国やアメリカなど国内外を飛び回りながら調査を行い、精力的に業務に励んでいます。大学では経済学を専攻し、ゼミや授業でディスカッションを通して論理的に伝える力を身につけました。これが業務においてお客様に説明や提案を行う場面で役に立っていると感じます。私は専攻と異なる職に就きましたが、経済学の視点や論理性はどの業種でも必要になるため、ぜひ法文学部で幅広く学び、色々な世界に挑戦してほしいと思います！

総合的な視点を持った体系的な教育によって、人文科学の素養を活かした
思考力・表現力・コミュニケーション力を身につけ、
多様な文化を理解し、課題を発見する

深く学ぶ。学びを活かす。

人文学科

HUMANITIES

人文学科では、グローバル化、少子高齢化、高度情報化など地域社会が抱える諸問題について、人文科学の体系的な知識をもとに、人と文化に関する論理的・科学的な思考力、さらには多様性に対応したコミュニュケーション力を持って、実践的に対処できる人材の育成を目指しています。

人文学科の教育方針

- 人間の心や歴史・文化・環境に深い関心を持つ学生の入学を待っています。
- 人文科学の様々な分野に関する知識・スキルを基礎・活用・実践と段階的に学べる特色あるカリキュラムを用意しています。
- 地域社会に貢献できる人材を育成します。

人文学科は多元地域文化コースと心理学コースがあり、専門性を踏まえた学びを実現します。

人文学科スタッフ紹介

多元地域文化コース

石田 智子	（考古学）
内山 弘	（日本語学、日本中世文学）
太田 一郎	（社会言語学、メディアとことば、方言学）
太田 純貴	（美学芸術学、メディア論）
大田 由紀夫	（東アジア近世史）
尾崎 孝宏	（文化人類学）
金井 静香	（日本中世史）
兼城 糸絵	（文化人類学）
小林 善仁	（人文地理学）
櫻井 芳生	（現代文化論、社会学）
柴田 健志	（哲学）
末松 信子	（英語学）
スティーブン・コーダ	（英語コミュニケーション、応用言語学）
竹内 勝徳	（アメリカ文学）
竹岡 健一	（ドイツ文学、出版学）
藤内 哲也	（西洋史、イタリア史）
中島 祥子	（日本語教育、異文化間教育、社会言語学）
丹羽 謙治	（日本近世文学）
福永 善隆	（中国古代史）
細川 道久	（西洋史、カナダ史、イギリス帝国史）
三木 夏華	（中国語学）
梁川 英俊	（フランス文学、ケルト学）
大和 高行	（イギリス文学）
吉田 明弘	（自然地理学、第四紀学）
渡辺 芳郎	（窯業考古学、物質文化論）

心理学コース

安部 幸志	（生涯発達心理学、福祉心理学）
飯田 昌子	（臨床心理学、児童期臨床心理学）
大薗 博記	（社会心理学、進化心理学）
菅野 康太	（行動神経科学）
富原 一哉	（比較心理学、神経科学）
平田 祐太朗	（臨床心理学、コミュニティ援助論）
山﨑 真理子	（社会心理学、消費者心理学）
横山 春彦	（認知心理学）
米田 孝一	（心療内科、緩和ケア内科）

（令和5年度6月現在、50音順）

人文学科 多元地域文化コース

幅広い知識と視点から地域社会と国際社会の課題を解決できる実践力のある人材育成

多言地域文化コースでは、思想・文学・文化・歴史・環境・言語など、人文学の様々な専門分野を幅広く学ぶことができます。人文科学の基礎知識やスキルをバランスよく学ぶことができ、さらに自分の興味に沿った専門的な知識を習得できます。広い知識と深い専門性を活かし、人間社会の様々な事象を多面的に捉えられる分析力を身につけ、グローバル化や地域の抱える諸問題に対して自ら対応できる人材を育成します。

授与する学位

- 学士（文学）

取得できる資格

- 中学校教諭一種（国語・英語・社会）
- 高校教諭一種（国語・英語・地理歴史・公民）
- 学芸員

VOICE 在学生の声

前薗 真鈴さん 多元地域文化コース3年

多元地域文化コースは、言語や歴史、哲学や芸術など、多様な分野を幅広く学び、自分の視野を広げられる魅力のあるコースです。人文科学の基礎から活用まで、様々な講義を通して学ぶことができます。私は言語や文化に興味があり、入学しました。私の所属するゼミでは、留学生とのディスカッションを通して英語コミュニケーションのスキルを高めたり、応用言語学について研究したりしています。今後は鹿児島大学の協定校の派遣留学を通してオーストラリアへ留学し、英語をより深く学び、専門性を高めたいと考えています。将来は、英語を活かしてグローバルに活躍できる人になりたいと考えています。

教育の特徴

バラエティー豊かな科目

思想・歴史・文学・語学・環境・メディアなどの人文科学に関するバラエティー豊かな講義科目を開講しています。世界・日本などの様々な地域における人間や社会、文化に関する知識を幅広く身につけることができます。

実践力を養う教育

講義科目で得た知識をより発展させることのできる演習、実験、実習など、多彩な教育カリキュラムを用意しています。実社会で必ず求められる問題の発見力・解決力を持った人材の育成を目標にしています。

きめ細やかな指導

自分の発見した興味について、知識に磨きをかけるとともに、世界や日本の抱える諸問題に柔軟に対応できる人材の育成を目指しています。そのため、3年次からゼミの所属となり、専門性の高い教員から、きめ細やかな指導が受けられます。

カリキュラム

1年次
人文科学の基礎と教養を学ぶ
社会で必要な教養を身につけるとともに、人文科学の基礎知識を習得します。

2年次
幅広い知識を学び興味を発見する
多彩な分野の基礎的な講義を受け、幅広い知識と自分の興味にあった専門分野を探ります。

3年次
自分の興味について知識を深める
自分の興味にあった専門分野のゼミに所属して、深い知識や高度なスキルを学びます。

4年次
研究テーマについて卒業論文を書く
学んだことを活用し、教員の指導を受けながら、自分の研究テーマに取り組みます。

主な就職先

- 公務員
- 教員
- 民間企業
- マスコミ
- 博物館　など

VOICE 卒業生の声

後藤（森田）桃子さん 公益財団法人かごしま教育文化振興財団　2023年卒業

“A journey of a thousand miles begins with one step.”私が大学・大学院生活を通して学んだ言葉です。専門分野だけでなく、幅広く学べることに魅力を感じ法文学部人文学科への入学を決めました。専攻の英語では様々な分野の先生方から親身に丁寧な教えをいただき、卒論や修論の研究も充実しました。「Democracy now!学生字幕翻訳コンテスト」特別審査員賞を受賞することもできました。また、高等学校教諭専修免許（英語）、学芸員、防災士、中国語検定、秘書検定、かごしま検定、SNS検定など、自分の関心をとことん学び、それぞれの場所で出会う仲間と切磋琢磨し合える環境に感謝しています。現在は、鹿児島市立少年合唱隊運営や、福祉施設・小学生対象の芸術鑑賞提供、避難訓練コンサート、SNS広報担当など、全てにおいて大学生活で得た知識や経験を活かせていると日々感じています。法文学部での学びを忘れず、これからも努力し続けたいです。

人文学科 心理学コース

他者に寄り添い地域の「心の健康」を支える人材と心理学を生かしてビジネス分野で活躍できる人材の育成

心理学コースでは、心理学の基礎から応用まで、幅広くかつ専門的に学びます。人間の心と行動を科学的に理解するための基礎的知識を身につけ、そこからさらに心の健康に関する実践的技能や消費者心理などの実用的技能を修得するカリキュラムが用意されています。人間の心と行動への深い理解に基づき、地域の様々な心理的問題の解決に貢献できる人材と、産業やビジネスに心理学的側面から貢献できる人材の育成を目指します。また、公認心理師受験資格を得られる教育体制・カリキュラムを整えています。

授与する学位

- 学士（文学）

取得できる資格

- 中学校教諭一種（国語・英語・社会）
- 高校教諭一種（国語・英語・地理歴史・公民）
- 学芸員
- 公認心理師（受験資格）

※受験資格を取得するには、大学院への進学などが必要になります。詳しくは厚生労働省の公認心理師関連情報をご確認ください。なお、公認心理師受験資格取得に必要な指定科目の一部には、成績等による受講制限（約30名）が設けられております。

VOICE 在学生の声

萬成 美羽さん 心理学コース3年

私は消費者の心の動きに興味を持ち、心理学コースを選びました。心理学コースでは臨床系・産業系をはじめとする人の心の動きについて学ぶことができます。また、心理学という学問では客観的なデータを用いて論理的な思考をすることが求められる部分もあり、文系・理系に関わらず、誰でも意欲的に学べるカリキュラムと環境が整っています。どのような領域にも人間が関わっている限り、人の心は切っても切り離せません。今後AIや科学技術がどれだけ発展しようと、このコースで学んだ論理的・客観的・批判的な姿勢や、実感した人と人とのつながりの大切さはあらゆる場面で活かすことができると思います。

教育の特徴

科学的思考力の育成

「心理学研究法」や「心理統計法」などの基礎科目によって、人間の心と行動を科学的・客観的に分析・理解する能力を育成します。このような科学的思考力は、全ての心理学分野の基礎になるだけでなく、実社会の複雑な問題を理解し、解決策を導く際に役立ちます。

2つの履修モデル

カウンセリングから脳科学まで、幅広い内容の心理学を学習することによって多角的に心理的問題にアプローチする能力を養います。また、「コミュニティ心理支援」と「産業心理支援」の2つの履修モデルにより、それぞれの現場に特化した知識・技能の獲得が可能になります。

現場で活きる知識・技能

文系総合学部の特徴を生かし、社会制度や経済状況など複雑な要因が絡みあう心理的諸問題を解決するための幅広い視野の獲得を目指します。また、実際の現場での実習科目によって、心理学の知識を適切に役立てるための実践的判断力とコミュニケーション力を養成します。

カリキュラム

1年次
学びの基礎を築き、心理学を概観する
初年次教育により学びの基礎を築き、基礎科目により心理学への導入を行います。

2年次
幅広い心理学の知識・技能を修得する
様々な心理学領域について学ぶとともに、心理学の基礎技能を修得します。

3年次
2つの履修モデルで実践力を高める
現場の課題を学び、実際の現場で活動することにより、実践力を高めます。

4年次
学びを統合して卒業論文を完成させる
興味関心に基づき深く学び、学んだことを活かして卒業論文を完成させます。

心理学コースでは、自らの興味関心や将来のキャリア計画に基づいて「コミュニティ心理支援」と「産業心理支援」のどちらかの履修モデルを選択します。
また、両方の履修モデルの単位を修得することも可能です。

主な就職先

- 心理職公務員
- 病院等の心理士
- 民間企業
- 行政職公務員
- 教員　など

VOICE 卒業生の声

湊本 詩織さん 熊本県立こころの医療センター　2017年卒業

心理学実験や論文の執筆、また専門的な授業において、「ああかもしれない」「こうかもしれない」といろいろな仮説を思い浮かべながら、その根拠を見つけていく論理的なものの見方、思考力を鍛えられたと感じています。最初は難しく感じましたが、同期と励まし合い、先生にサポートしていただきながら、たくさんの仲間と共に学び合うことができ、とても充実した学生生活でした。現場で、心理士として支援に携わる中でも、相談者の方の人となりや現状をより深く理解するために、些細なことに疑問を持ち、いろいろな可能性を想像しながら、一つ一つ根拠を見つけ、整理していくことが大切です。学部時代からの積み重ねが今の仕事にも活きていると感じています。

入学定員と募集人数（令和6年度）

学科	コース	入学定員	コース定員	募集人数					
				一般選抜		特別選抜			
				前期日程	後期日程	推薦選抜Ⅱ	自己推薦型選抜	国際バカロレア選抜	私費外国人学部留学生選抜
法経社会学科	法学コース	245	90	72	8	10	ー	若干名	若干名
	地域社会コース		50	98	20	商業科等 7	ー		
	経済コース		105			全学科 30	ー		
人文学科	多元地域文化コース	165	125	80	15	25	5		
	心理学コース		40	30	ー	8	2		
計		410	410	280	43	80	7		

（法経社会学科の地域社会コースと経済コースについては、2年次に進む際にコースを決定します。）
※一般選抜および特別選抜の実施教科・科目、入試スケジュール等については、「令和6年度 入学者選抜要項」（鹿児島大学、令和5年7月）をご覧ください。

留学

鹿児島大学では、主に、異文化理解と外国語運用能力の研鑽を目的として、世界27か国・地域の95機関（2023年3月1日現在）と大学間での学術交流、さらに、法文学部では、ドイツのミュンヘン大学、中国の内蒙古大学、内蒙古師範大学、上海海事大学、長江大学、海南大学、台湾の暨南国際大学、タンザニアのセント・オーガスティン大学タンザニア、フランスのEMBA-ISUGAとの学部間学術交流を実施し、留学生の受け入れと本学生の派遣を行っています。令和4年度の学生派遣先は、右の表のとおりです。こうした学術交流協定に基づいた留学のほか、語学研修のために海外に赴く学生もいます。

ミュンヘン大学

派遣実績

令和3年度 10名

令和4年度 12名

国・地域	大学
韓国	全北大学校
	釜慶大学校
マレーシア	マレーシアプトラ大学
台湾	淡江大学
オーストラリア	シドニー工科大学
スウェーデン	リンシェーピン大学
ドイツ	ミュンヘン大学
	カール・フォン・オシエツキー大学
トルコ	アンカラ大学

学生生活支援

奨学金・授業料免除制度・学生寮

経済的に学生生活を援助する制度としては、奨学金と授業料免除の制度があり、法文学部の約5割の学生がなんらかの奨学金を受けています。また、学生寮の個室の場合、男女とも月額4,300円です。

令和4年度 法文学部 奨学金受給者・授業料免除者数実績

日本学生支援機構奨学生	762名		
その他の奨学生	15名		
授業料免除者	全額	234名	439名
	2/3	117名	
	半額	22名	
	1/3	66名	

就職状況

法文学部 就職率 **95.2%**
※令和4年度卒業者

高い就職率を実現

法文学部は95.2%という高い就職率を誇り、就職以外にもさらなる進学や資格取得など希望に応じた多様な進路選択が可能です。

出身地での地元就職、地域への貢献

例年就職先の3～5割が鹿児島県内、3割前後が鹿児島以外の九州地方内です。地域の企業や各種機関で中核を担う人材として活躍しています。九州内外を問わず多くの人が出身地を中心に各自治体や国の機関、地元有名企業に就職し、活躍しています。

広い世界への飛躍

出身地に関わらず、首都圏など大都市圏の自治体、全国区での国家機関や一部上場企業への就職を希望する人達も夢を叶えています。

地区別就職状況

※令和4年度卒業者
※詳細は「鹿児島大学」ホームページトップより関連情報:「就職・進路データ」をご覧ください。

法文学部附属センター

司法政策教育研究センター

司法政策教育研究センターは、法学・政治学・司法政策分野の教育研究の推進と振興に取り組み、データベースの発信、専門職向けセミナー、高度な学習を望む学生の支援など、様々な社会貢献活動を実施しています。

「鹿児島の近現代」教育研究センター

鹿児島の近現代の歴史や文化、社会を対象にした研究をおこない、地域資料の収集と公開、データベース作成、教育プログラムの開発、講演会等の開催を通して、地域の活性化と課題解決に取り組んでいます。

「鹿児島の近現代」教育研究センター特任教員
鈴木優作（日本近現代文学）、日高優介（地域社会学）
中嶋晋平（歴史社会学）、伴野文亮（日本近現代史）

大学院

大学院人文社会科学研究科には、博士前期課程（社会科学を基礎とした法学専攻・経済社会システム専攻、人文科学を基礎とした人間環境文化論専攻・国際総合文化論専攻）が、また専門職大学院として臨床心理学研究科（臨床心理学専攻）が設けられており、学部卒業後さらに高度の知識・技能を習得することができます。さらに、博士後期課程（地域政策科学専攻）も設けられています。

大学院
- 人文社会科学研究科
  - 博士前期課程
    - ・法学専攻
    - ・経済社会システム専攻
    - ・人間環境文化論専攻
    - ・国際総合文化論専攻
  - 博士後期課程
    - ・地域政策科学専攻
- 臨床心理学研究科
  - ・臨床心理学専攻